

新基地建設反対名護共同センターニュース

「新基地は造らせない！」決意新たに初興し はち うく



→琉球舞や参加者の決意表明に耳を傾ける左から稲嶺氏、比嘉瑞己県議、赤嶺氏



安倍政権を終わらせ、野党連合政権の樹立を！
元旦に辺野古の浜で3000人が誓う

「美しい自然を壊して造る意義はない」 坂本龍一さんが辺野古の海を視察



東恩納琢磨名護市会議員が操縦するグラスボートから、新基地建設現場を視察する坂本さん
(写真=沖縄タイムス)

世界的音楽家の坂本龍一さんが3日、辺野古新基地建設現場海域を船上から視察しました。5日に宜野湾市で開かれた吉永小百合さんと共演したチャリティーコンサートに先立ち視察したものです。坂本さんは「この美しい自然を壊してまで（新基地を）造る意義はない」と語り、埋立工事を中止すべきだとの認識を示しました。

あけましておめでとうございます。へり基地反対協会は1月1日早朝、名護市辺野古の浜で「初興し」を開催、県内外から約300人が参加しました。安次富浩共同代表が「県民のたたかいが安倍政権を追い詰めている。今年こそ野党共闘で安倍政権を終わらせ、辺野古新基地問題に決着をつけよう！」とあいさつ。
「オール沖縄」の稲嶺進共同代表、赤嶺政賢、屋良朝博衆院議員、高良鉄美参院議員などがあいさつ、多くの県市町村議員も参加しました。
初興しでは、「かぎやで風節」など琉球舞踊や古武道が披露され、最後は参加者全員でカチャーシーを踊り、「辺野古新基地は絶対に造らせない」と新年の決意を誓い合いました。

※訂正 11日の県民大行動はありません

当ニュース268号で「1月11日（土）にゲート前での第1土曜県民大行動」と告知いたしましたが、1月度の第1土曜県民大行動は「初興し」に代えたため11日は行われません。お詫びして訂正いたします。

次回の県民大行動は1月16日（木）です。

年末ぎりぎりまで「新基地は許さない！」と不屈の決意示す



↑ゲート前で腕を組み、「沖縄を返せ」を合唱する左から真島、赤嶺、田村氏など



↑県民に国会情勢報告をする高良氏。←座り込みから機動隊員に排除される高良氏

ゲート前では、昨年年末ぎりぎりまで座り込みの抗議行動が続きました。12月26日には高良鉄美参院議員や赤嶺政賢、田村貴昭両衆院議員、真島省三前衆院議員も駆けつけ県民130人と共に抗議の声を上げました。
ゲート前 2000日を数える
2014年5月7月から始めたキャン・プ・シュワブゲート前の座り込みは、12月27日で2000日目の区切りを迎えました。この日、有志による集会が開かれ70人が結集、「新基地を中止に追い込むまでたたかおう！」と県民の不屈の決意を示しました。